「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第14巻

<https://doi.org/10.15017/4403553>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 14, 2018-03. TENDEC Office
バージョン：
権利関係：

10. 技術および運用に関するアップデート

10-1. 技術者マニュアル(英語版)の作成について

「遠隔医療カンファレンス 技術担当者になったら読む本 入門編」の英語版を本年 8 月に発刊しました。本マニュアルは、国立大学附属病院長会議常置委員会国際化担当の活動の一つとして、本活動に積極的に参加している国立大学病院の技術担当者からの構成員により作成されました。

本書は昨年日本語版も発刊しており、どちらも無料で配布しておりますので、ご希望の方は当センターまでお尋ねください。また英語版はオンラインでも公開されております。(http://www.univ-hosp.net/english/internationalization/teleconference/)

遠隔医療カンファレンスの相手先との技術調整等に是非お役立てください。

<http://www.univ-hosp.net/english/internationalization/teleconference/>

10-2. カンファレンス参加者のためのマナー向上ツール

マイクミュートのお願い【動画】

監修：アジア遠隔医療開発センター

ナレーション：Jaymel R. Castillo

映像・アニメーション・イラスト：Tinna Vorawatanakul

音声・アニメーション：Sutinar Paripunnapok

<https://www.youtube.com/watch?v=LNr0XASYMtg&feature=youtu.be>

テレビ会議開催時の注意とお願い【スライド】

監修：アジア遠隔医療開発センター
 デザイン：Sutinar Paripunnapak
 イラスト：Tinna Vorawatanakul

10-3. 活動ポリシーの改定

2017.8.31 改訂

基本的な考え方

本プロジェクトで施行するカンファレンスは、あくまでも教育用が主体であり、患者情報を直接取り扱う電子カルテや診療情報の共有を目的としたものではありません。そのため患者氏名や患者の顔など患者を特定できる患者情報は一切公開されることはなく、事前に削除されるか同定できないように被覆されるなどして慎重に取り扱われています。またライブデモンストレーションにおいても、患者情報を出して議論されることはなく、また患者を特定できる情報をカメラで撮影することはありません。従って、基本的にはこれ以上のセキュリティ対策を取る必要はないものの、特にライブデモンストレーションに関しては各医療機関の考え方に沿い、事前に患者へ承諾をいただいた上で、必要に応じて IPsec-VPN や AES などの暗号化環境を構築してさらなるセキュリティ対策を確保しています。

1. カンファレンスの記録、著作権、肖像権について

カンファレンスは静止画や動画により記録されます。カンファレンスの参加者は静止画や動画に撮影される可能性があります。カンファレンスを撮影した静止画や動画の著作権は TEMDEC に帰属します。ただし、カンファレンスで参加者が使用した発表資料等の著作権は、当該資料等の作成者又は著作権者に帰属します。

2. 資料等の公開について

カンファレンスの静止画や動画、参加者の発表資料等は TEMDEC のホームページ、報告書、学会発表等で公開される可能性があります。なおこれらの資料等の公開については事前に参加者に用途について周知致します。

3. カンファレンスのストリーミング配信について

カンファレンスはストリーミングによる同時配信が行われるものがあります。ストリーミングされた動画の著作権は TEMDEC に帰属します。ストリーミングにより配信された動画については、コピーや転用を禁止します。

4. 研究成果の公知性について

カンファレンス内で提示し、共有された研究成果は、公知になったものと扱われる可能性があります。したがって、特許性のある事項がカンファレンスで共有された場合、その新規性が失われることもあり、参加者の不利益になる可能性があります。よって、特許出願を行う可能性がある情報を提示する場合、知的財産部署等に事前に相談していただくようお願いいたします。

5. 患者の個人情報の取り扱いについて

カンファレンスでは患者の個人情報を含む情報は当該患者の了解なく、口頭・発表資料等において一切提示しないように配慮ください。また、これらの情報については、各診療科・学問領域の個人情報の取り扱いに留意してください。